

特定非営利活動法人 会 員 誌

ふれあいサポート館アトリエ



⇒E-mail fureainpo@gmail.com

⇒ホームページ

<http://www.fureai-support.jp/>



12・1月号
令和7年11月29日

■法 人 事 務 所・ア ト リ エ	TEL 0244 (36) 5420
〒976-0042 相馬市中村字北町1-8	FAX 0244 (32) 0965
●デイサービス友遊(北 町)	TEL 0244 (26) 5424
●デイサービス友遊(南飯淵)	TEL 0244 (36) 3582
●相馬市中央児童センター(ポニー・ことり)	TEL 0244 (35) 2008
●飯豊小放課後児童クラブ(ひまわり)	TEL 0244 (37) 8870
●日立木小放課後児童クラブ(めだか)	TEL 0244 (35) 3400
●磯部小放課後児童クラブ(げんき)	TEL 0244 (32) 1787
●八幡小放課後児童クラブ(なのはな)	TEL 0244 (26) 9011
●相馬こどものみんなの家	TEL 0244 (35) 4700

目薬の木の葉も真っ赤に色づき、木枯らしに舞い散っております。

今年もアトリエには、収穫の秋が来ました。皆さんが田植えして実ったお米も届きました。味噌づくりの日は、新米おにぎりを作って
お味見したいと思います。また、サツマイモや柿、キウイフルーツ、銀杏、等々、食欲の秋も十分楽しめました。

北町アトリエ下の蓮池には、11月18日に白鳥が初飛来しました。毎年変わらぬ光景には安堵します。

年末に向けて何かと気ぜわしい時期ですが、子ども達にとっては、冬休み・クリスマス・お正月・お年玉・・・

寒い中にも楽しい♡が盛りだくさんです。皆様が、良いお年をお迎えできますよう、お祈り申し上げます。



年少・年中 はらぺこあおむし



年長と低学年 お魚を描こう



高学年 サツマイモ写生



南飯淵アトリエ アルバムの絵

10・11月のかいがそうけいきょうしつでは…

未就学児(年少・年中)：混色練習(はらぺこあおむし)

丸い画用紙に絵の具の使い方の練習！赤・青・黄…きれいに丁寧に塗ります。次に色の組み合わせを考えて丸を並べたら、とてもカラフルな「色いろあおむし」の誕生！紙を切ったり張ったり描いたりし個性豊かな「色いろあおむし」の世界ができました。

未就学児(年長)・小学生(低学年)：観察描写(お魚)

松川浦で釣れた体長60センチ以上もある大きなお魚(わらさ)がアトリエに届けられました。興味津々なみんなのお顔、歓声、ワクワクドキドキ…！色見つけ、形比べ、色々勉強したよ。

わらさは『出世魚』と呼ばれる縁起の良い魚です。
関東地方では、ワカシ→イナダ→ワラサ→ブリ
と成長ともに呼び方が変わります。面白いですね！

小学生(高学年)：写生(サツマイモ)

墨汁で線描きをし、水彩絵の具の赤と青の微妙な混色を確かめながらさつま芋を表現しました。ずっしり重そうな芋、細い根っこがもじゃもじゃの芋、そして美味しそうな芋、等々。混色と背景の効果なども考えた、個性豊かな作品に仕上がりました。

全体～：アルバムの絵・カットのえ・自分の顔 制作

一年間の成長記録の一つとして、アルバム制作を毎年行なっております。子ども時代の思い出に残るえと自筆のサイン、小さな

カットのえ、鏡を見て描いた自分の顔をアルバムに編集します。
子ども達の心が、絵にも文字にもでて個性が読み取れ、見ている方も楽しいです。12月中に仕上げをします。

12・1月の活動予定 & 事務連絡

- ◎12月 ・カレンダー作り ・アルバムの絵
- ◎ 1月 ・陶芸 お守りの鈴
- ◎ 食育のすすめ 味噌づくり 12月13日(土)

◎ご請求は

- ・12月は 月会費に アルバム代 4,800円
- ・1月は 月会費のみ

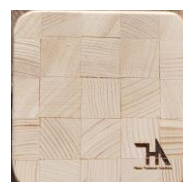
福祉体験・介護実習(福祉住環境演習)を終えて

11月17・18日にテクノアカデミー浜校建築科2年生の2人がデイサービス友遊で、介護実習で福祉体験をしました。

利用者の皆さんから、今後の社会人としての生き方につながるような話になる話を聞き取り、心に刻んだようです。孫やひ孫のような学生さんからは、若さみなぎるエネルギーをいただきました。



2日目の最終日のお見送時には、握手しながら別れを惜しみました。「また、遊びに来ますね」と言ってくださり、スタッフも嬉しかったです。



プレゼントを頂きました
ありがとうございました！

手作りの椅子10脚！

寄木造りの
手作りコースター



今年も大収穫！ サツマイモ掘り体験



秋晴れの下でサツマイモ掘ったよ！

「見てみて、こんな大きいのほったよ！」

「わあ、5つもつながっている～」

「土がかたくて掘れないよ～だれか手伝って！」

あちらこちらから子ども達の賑やかな声が、畑に広がっていきました。

今年は44名が5班に分かれ、各班リーダーさん達を中心に合計600本以上のサツマイモを収穫しました。班対抗で「一番多いで賞」「一番重いで賞」と競い合いました。今年は、参加者の半分为未就学児でしたので、『飽きてしまうのでは』とちょっと不安な気持ちで開始しました。しかし、リーダーさん達のおかげもあって、1時間経っても一生懸命、サツマイモ掘りに熱中していました。幼稚園児の頑張りが、とても心に残っています。

「かいがそうけいきょうしつ」は、体験活動を大切にしています。春は田植え、秋は芋掘りと、最近ではなかなか難しい「自然体験」を重要視しています。しかも異年齢、異学校という、縦割り集団です。「自然体験」には「学び」があります。集団遊びを通して、友だちと協力し、知恵を出し合って挑戦しようとする力を育ててくれます。

そして、その過程で重要なのが「感性」です。「感性」は、五感を通じて物事を理解し、理解したものが、どういうものなのかを感じ取って働く力です。

なぜ「感性」が大事かということ、感性が視野を広げ、いろいろな物事に目を向けさせるからです。興味を持つことで「これって何だろう？」という疑問が生まれ、「やってみたい」「学びたい」という気持ちが芽生えるのです。「自分で考える」「答えを見つけ出していく」力を体験活動は育ててくれるのです。

今回は「味噌づくり体験」があります。日本の「文化体験」です。昔から受け継がれてきた食文化の知恵を体験できる貴重な機会です。また、子どもたちの新たな「感性」が刺激されますね。

(記 遠藤裕子)

第6回キラリふくしま介護賞受賞 ご報告

キラリふくしま介護賞とは福島県内の介護現場でキラリ輝く介護職員や施設の取り組みを表彰する制度です

11月10日、受賞式に、副理事長・管理者の門馬浩之と倉本まり子が出席し、内堀県知事より賞状と副賞の盾をいただき、きました。受賞者代表で倉本まり子が挨拶しました。



表彰式・受賞者代表あいさつより

只今ご紹介いただきました、NPO 法人ふれあいサポート館アトリエデイサービス友遊Ⅱの生活相談員の倉本と申します。

受賞者を代表させていただきます、ご挨拶申し上げます。

私事で恐縮ですが、利用者様か、職員かと思われ、年齢の私がこのような場に立たせていただくことに、最初は少し戸惑いもございました。しかし、介護職員の人手不足が深刻化する今、年齢に関係なく、生涯現役で働かせていただけることは、人材確保のみならず、生きがいづくりや、介護予防にも大きく繋がるものと感じており、あえて、この段に立たせていただきました。

まずは、このたび「キラリふくしま介護施設表彰」という栄誉ある賞を頂き心より嬉しく思っております。

アトリエは、かいがそうけいきょうしつとして、子どもたちの居場所づくりから始まり今年度で創立60年を迎えました。その節目になる年に、このような賞をいただきましたこと、一同大変喜んでおります。



私共デイサービスでは、アートと教育と福祉の融合を目指し、赤ちゃんから101歳のおばあちゃんまで、世代を超えて関わり合いながら、みんなが“イキイキ キラキラ いい笑顔”で過ごせる居場所づくりを続けております。

これからも、社会の変化を敏感に感じ取り、目の前のことだけでなく広い視野をもって新しい発想と挑戦を楽しみながら、生活の中の「色」を明るく塗り替えられるよう、さらに新しいムーブメントを起こしてまいりたいと思います。

本日は、誠にありがとうございました。

理事さん・先輩方のご紹介

大活躍おめでとうございます！

- 当アトリエ顧問・理事：宮城教育大学名誉教授渡辺雄彦先生 画業70年記念渡辺雄彦展
- 当アトリエの理事：羽根田医院の羽根田隆先生 日展に3年連続ー17回目の入選
- 元アシスタントリーダー：絵本作家 サトウマサノリさん「ちかてつライオンせん」等著書多数出版
- 元教室生：相馬中央病院の立谷陽介さん 絵画展はじめ音楽の演奏・作曲と2刀流の活躍 子どもの



2026年も実り多い年になりますように・・・